

# まちの話題

## 最高峰の頂から1年の目標を誓う 見行山ピクニック

6月2日福地小学校の全校児童8人が、町内最高峰の見行山(標高905メートル)に登り、眼下にある校舎に向けて今年1年の目標を大声で誓いました。

山頂では、あらかじめ目標を書いていたケルンを設置してから「漢字ドリルや計算ドリルを頑張るよ」「私は最高学年として全校のみんなを引っ張っていくぞ」などと一人ずつ大声で叫びました。またその他には、校歌を歌ったり、お年寄りから見行山登山の思い出などを話してもらいました。



山頂で記念撮影

## 園児たちがニジマスを放流



八百津保育園児のニジマス放流の様子

6月9日関西電力株式会社今渡電力システムセンターが、6月の環境月間に合わせ、木曾川中流漁業協同組合の協力を得て、木曾川2カ所(八百津橋下、丸山ダム湖)で約1000匹のニジマスの成魚を放流しました。

八百津橋下では、八百津保育園年長児23人を招いて行われ、園児たちは、漁協の組合員からニジマスを一人ずつバケツに分けてもらい、「お魚さんバイバイ」「大きくなってねえ」などと声をかけながら約500匹を川へ放流しました。

また、午後からは関西電力職員が、八百津町八百津の「めい想の森」の公園内に、八百津町役場職員の協力を得て、サザンカ・ツバキを約40本の植樹を行いました。

## 蘇水園で防災訓練

6月11日、養護老人ホーム八百津蘇水園で同園と災害活動応援協定を結んでいるワカムラ電機株式会社(若村浩明 社長)が防災訓練を行いました。

訓練は「地震が発生し園調理室から火災発生」という想定。園職員は火災の発生を消防署に通報。訓練開始後、すぐにワカムラ電機の社員5名が園に到着し、同社員らは歩行困難な利用者を車いすに乗せ、園職員と歩行可能な利用者とともに集会室に避難しました。園の外では園職員と協力して放水訓練を行いました。



車いすで避難の手助けをするワカムラ電機社員